

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ
二次交通改善活動プラットフォーム第2回会議
議事要旨（概要版）

1. 日 時：令和4年10月27日（木）14:30～16:30

2. 場 所：鳥取空港国際線ターミナルビル 2F 出国待合室

3. 議事概要：

(1) 新規入会構成員紹介

- ・事務局からバス事業者1社が新規入会構成員として参加された旨の紹介があった。

(2) 各種調査結果に対する構成員等からの意見

① アンケート調査結果

- ・レンタカーと非レンタカーの利用者を比較すると、非レンタカーの利用者は観光地を十分に回り切れていない。このことから、レンタカー以外の二次交通の潜在需要が多い。
- ・調査やデータから、様々な特性が分かった
- ・アンケート調査で賀露（鳥取港が近い）を知らない人が多かった。賀露路線はどこへ行くか分からない。

② タクシー事業者

- ・タクシーは、全国34都道府県で配車GOアプリを導入しており、東京などを中心にSuicaが使える地域も多い。
- ・鳥取の場合は予約があっても配車できる車がないという状況である。GOアプリで予約しても30分しないと配車できず、苦情がくる心配がある。
- ・キャッシュレスは、かなりの投資が必要であり、導入は困難である。
- ・タクシー事業者は経済的に厳しい会社が10社中半数ある。地元の病院送迎等の対応もあり、観光への対応も難しい状況である。ドライバーも高齢という状況である。
- ・バスには補助金があるが、タクシーには補助金の制度がない。

③ バス事業者

- ・鳥取空港は鳥取駅からとても近いという意見を多くいただいている。
- ・中心市街地や鳥取駅前周辺の活性化も求められており、また中心市街地に行けばいろいろな施設があり鳥取砂丘にも近い。
- ・情報提供については、鳥取駅のバスターミナルの案内改善等を行っている。
- ・空港に訪れた方にも賀露（鳥取港）への乗り継ぎ等分かりやすくすると利用しやすくなる

④ レンタカー事業者

- ・レンタカーは、コロナ前まで利用が右肩上がり、コロナ禍で利用は落ち込んだが、最

近は回復傾向にある。

- ・県内を回る際、どうしても交通が不便であり、レンタカーは自由が利く。
- ・レンタカー利用は回復傾向にあるが、車が足りないという問題がある。
- ・出雲空港は今年のGWからレンタカー利用が爆発的に伸びている。一方、遅れているのが鳥取空港であり、利用が伸びてきていない。なぜなのかわからない。

(3) 出口戦略に対する構成員等からの意見

① 全体の方向性

- ・「情報」「移動」「活動」を軸とした出口戦略の考え方、進め方、やろうとすることは良い。リスクをどのように分担するかが最後の最後の出口で課題となると思う。
- ・大きな絵姿は確認できたので、あとは体制、取組みなどの枠組み、お金の問題となる。
- ・一つの鳥取チームとして、何ができるのか出しあう会議にして欲しい。民間事業者としては損益分岐点、利益がでるか、で事業成立を考える。絵に描いた餅にならないよう、次回の会議において、実際のプランが出てくると良い。
- ・各種課題の解決には、ITを活用したプラットフォームの構築が必要であるが、成功した絵姿や先のリスクを誰が負担するのかという点を考える必要がある。
- ・主なターゲットは観光客になるが、県内の方もいるので、誰に対しての出口戦略か、明確にすることが必要。まずは、来てもらい、お金を落としてもらい、滞在時間を増やしてもらうことが重要となる。
- ・キャッシュレス決済、交通系ICカードの導入がすぐに困難である場合、最初の取組みは既存路線の活用が現実的である。また、鳥取空港と賀露（鳥取港）や鳥取砂丘をつなぐなど、既存ルートを変えながら進めるという方法もある。
- ・情報プラットフォームは提案のとおりだと思う。観光協会、麒麟のまちでは、6つの町の皆さんと体制を整えていこうということでサイトをリニューアルした結果、訪問者数が4倍に増えている。
- ・プラットフォームを創設するのは良いが、お客様への周知も課題となる。ユーザー数、登録者数をどう増やすのかというところの検討も必要である。
- ・プラットフォームがあることで相乗効果が期待できる。また、世界の潮流なので進めていければと思う。また、二次交通と言いながら、二次交通だけで済む話ではない。その先の商品、つまり目的地のPRも重要となってくる。

② 個別の取組み

- ・お客様にこういうルートで行くと便利であるというようなことを掲示するなどして示す、といったことなどから進めていくと思うが、第一段階の方法も設定して進められればと思う。
- ・定額タクシーの話があったが、順調に数字が表れるようになってきた。従来から運行しているので、気持ちとしてはインバウンドを見据えて備えていきたい。

- ・情報の作り方、見せ方など大事にしながら、プラットフォームと如何に連携を図っていくか大事になってくる。如何に今やっている取組と一緒にやっていくかというスタンスになってくる。
- ・JR 西日本でも、観光スポットとモデルコースを絵や写真とともに示してく MaaS アプリがあり、北陸エリアも入れたアプリとしてエリアを広げる予定である。
- ・大阪万博 2025 が今後開催されるが、海外からの来訪も多いと思われ、これをターゲットするのが良いと考える。関空インで鳥取に向かわせるという話も伺っており、お客様がより便利に回っていただけることをターゲットにして進んでいきたいと思う。

(4) 次回開催

事務局から次回（第 3 回会議）は 1 月下旬開催予定であることを説明し、すべての議事が終了した。

以 上